

# 領家中だより

横浜市泉区領家 4-3-1

TEL 811-6641

FAX 812-9645

令和5年 3月24日

横浜市立 領家 中学校

学校長 熊野 リカ

No. 11

## バトンは繋がっていく

校長 熊野 リカ

3月8日、第37回卒業証書授与式が挙行され、173名の卒業生を無事送り出すことができました。政府の方針を受け、代表ではありますが地域の方にご来賓としてご参加いただき、生徒会本部と2年生の学級委員が在校生代表として参列する形を取りました。多くの立場が見送る卒業式は、実に4年ぶりとなります。ありがたいことと感謝の一念です。



天気にも恵まれ、明るい日差しの中で行われた卒業式は、式そのものにも温かさがいっぱいに漂っていました。前日に1年生2年生がきれいに掃除し、整えてくれた会場。職員は、椅子の並び、看板や校旗の位置、バックに流す音楽の音量など、細部にわたって遅くまで確認をし、当日に備えました。当日、会場にいるいないに関わらず、全校を上げて卒業生の門出を祝う空気がそこにはしっかりあり、それが会場の温かさをより一層強めていたと感じます。その会場に、自分たちのシンボルカラーのコサージュを胸に堂々と入場してきた卒業生たちも、その思いに込められているように感じられました。証書授与の場面では、担任の呼名から一人ひとりへの思いが伝わり、受け取る卒業生たちの真剣な表情と丁寧な仕草からは、締めくくりと旅立ちへの決意が伝わってきました。卒業証書を受け取り、校長に背を向けて一歩一歩赤いじゅうたんを進む卒業生の後ろ姿は、巣立ちゆく姿そのものでした。式典でのゆっくりとした歩みの通り、これからの人生を丁寧に、しっかりと、かみしめながら歩んでほしいと感じ、式辞にも力が入りました。



卒業生からの「門出の言葉」は、聞く人の心に届き、語り終わった後には自然と拍手が生まれていました。その姿に卒業生のみならず、職員も涙を誘われ、続く合唱『群青』の歌声に会場中が感動の渦に飲み込まれました。卒業生の感謝の思いが保護者の皆様に伝わり、拍手というエールはしっかり卒業生の心に届いたことと 생각합니다。

卒業生の姿をみた在校生代表生徒たちも、この数時間で多くのものを学び取ったようです。「来年はしっかり最上級生としての自覚をもって頑張っていきたい。」「三年生が卒業して、自分達が最高学年になると実感した。もっと後輩に尊敬される先輩になって、領家中をみんなで作り上げていきたい。」「先輩方の卒業式を見て堂々としていてカッコよく感じた。先輩たちのように前を向いて学校を引っぱれるようになろうと勇気づけられた。」「卒業式はすごくシャキッとしていたことが印象的だった。自分達も最後の1年を通して立派になりたいと思った。」等の感想が2年生の学年だよりに紹介されていました。リーダーの思いが次期リーダーに伝わったことを確信し、頼もしく感じました。

優しい“想い”がこだまのように響き合い、バトンのように渡される、そんな温かい時間を過ごしました。春は「別れ」と「出会い」の季節であり、「まとめ」と「スタート」の季節です。どうまとめ、どう新たなスタートをきるのか。1年生2年生の皆さんは、担任の先生からもらうアドバイスも参考に、よりよいスタートを切れるよう、しっかり準備する春休みにしてください。

末尾になりましたが、今年度も保護者・地域の皆様に支えられ、教育活動を行うことができました。ありがとうございました。今後ともご支援いただきたく、お願い申し上げます。

## 門出の言葉

暖かい陽の光が降り注ぎ、桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じる今日、私たちは卒業の日を迎えました。本日は、私たちのために素晴らしい式を開催していただき、ありがとうございます。卒業生を代表して、心より感謝申し上げます。

思い返せば、この三年間は波乱に満ちたものでした。三年前の春を思い出してみてください。ドキドキしながら迎えた入学式に、保護者の姿はありませんでした。コロナウィルスの感染予防のためです。次の日から2ヶ月間の休校で、学校に行くことはできませんでした。家からの外出も控え、何も無い、ただ過ぎていく日々が続きました。

しかし、6月からは分散登校が始まりました。やっと始まった新たな生活に、毎日ワクワクしながら学校に行ったことを覚えています。あっという間に1学期が終わり、2学期に初めての体育祭が行われました。半日での開催でしたが、上級生の力強い姿や、3学年がそろって行事ができたことが、嬉しかったです。

2年生になり、後輩ができて委員会や部活動にもさらに気持ちが入りました。順調に進んでいた2年生の生活が、一変したのは夏休みです。部活で代替わりをし、これからより一層精を出していこうと思っていた矢先、緊急事態宣言が出されたのです。楽しみにしていた部活動がなくなり、心がくじけ、無気力に過ごしたことを今でもよく覚えています。休み明けは分散登校になることが決まりましたが、このまま気力がない状態が続いてしまいそうで不安でした。

しかし、いざ学校が始まると、次々にやることが出てきました。自然教室の代わりに企画された、「相模湖プレジャーフォレスト」への遠足。私服にイエローバンダナをつけた仲間と、アトラクションや食事を楽しみました。電車に乗って「鎌倉」へも行きました。事前に鎌倉の寺社仏閣やお土産をパソコンを使って調べたことや、当日、班員がはぐれそうになったことなど、とてもいい思い出です。

それらの行事の中でも、1番の思い出は、3年生で行った「修学旅行」です。1日目に行った大阪の「ユニバーサルスタジオジャパン」では、親友と一緒に様々なアトラクションを巡り、はしゃぎました。2日目は京都の班別自主行動、タクシーで周る贅沢な旅でした。運転手さんに案内していただき、京都についてより深く知ることができました。夜は宿の大広間に学年全員が集まり、レクリエーションを楽しみました。3日目は、クラス別に、それぞれのコースをバスで回りました。あっという間の3日間でしたが、みんなで過ごしたこの3日間は、今でも鮮明に思い出出すことができる大切な思い出です。

そして、気付けばあの無気力だった自分はいなくなっていました。それはすべて「友達」「仲間」「ここにいる皆さん」のおかげです。人間関係に悩んだ時期、受験で辛

かった時期、どこに向かっているのかわからなくなった時期、仲間に会えば心が軽くなる、前を向ける。そういう体験を皆がしたと思います。このことは、コロナで、人と人とのつながりが断たれた私達だからこそ、より深く感じられたのだと思います。「人との関わり」を何よりも大切に感じた3年間でした。

こうして振り返ってみると、私たちは本当にたくさんの方に支えられてきたことを実感しています。

ご来賓の皆様。領家中学校のことを考え、常に支えていただき感謝しています。少しずつ地域と関わる機会が戻ってきました。卒業後も、地域の一員として関わっていきます。これからも領家中学校を見守り、支えていただくと幸いです。

在校生の皆さん。私は、部活や委員会などで制限が続き、心が折れそうになった時がありました。しかし、そんな時でも、皆さんはとても明るく元気に、前を向いていました。その姿に何度も勇気づけられました。これからも大変なことはあると思いますが、きっと皆さんなら乗り越えられます。今までありがとうございました。そして、これからの領家中学校をよろしく願います。

先生方。先生方はいつも明るく、優しく接してくださいました。少し暗い顔をしていると、いち早く気付き「どうしたの。大丈夫？」と優しく声をかけてくださいました。その優しさに励まされ、前を向くことができました。日々の授業も、行事も、休み時間も、いつも楽しそうにしている先生方のおかげで、私達もとても楽しむことができました。本当にありがとうございました。

保護者の皆様。受験で自分に余裕がなくなり、素直になれず、つらく当たってしまったこともありましたが、そっと見守り、健康のことまで気遣ってください、感謝しかありません。普段はなんだか照れくさくて言えませんが、大好きです。まだまだ未熟な私達ですが、これからもよろしく願います。

最後に、黄学年のみんな。嬉しいこと、楽しいことが本当にたくさんあったね。つらいときにみんながいてくれたから、今日、ここにいることができます。みんなと過ごした、この三年間は一生の宝物です。そんなみんなと過ごすことができるのは今日が最後です。明日からはそれぞれ違う道に進むこととなりますが、みんなと過ごしてきた日々を思い出せば、どんな事があっても、きっと乗り越えていけると思います。本当に、本当にありがとう。私達「しあわせの黄色いガクネン」は、領家中学校生としての誇り「イエロープライド」を胸に刻み、これからも革新し続けていきましょう。

領家中学校のさらなる発展を心より祈念し、門出の言葉といたします。

## 後輩の皆さんへ

僕にとって3年間は、とても実りあるものでした。

例えば、学級委員長やサッカー部の部長での経験から、人の前に立って雰囲気明るくすることができるようになったり、友達の悩みを聞いて、より人の気持ちを考えて生活できるようになったりしました。貴重な経験ができ、かけがえのない友達もできるなど、自分自身の成長につながりました。

その中で気づいたことがあります。それは「仲間の大切さ」です。

仲間がいることで自分一人では思いつかないような意見や見方を知ることができました。辛い時でも、周りと一緒に頑張っている仲間がいることで、「もう少し頑張ろう」と自然と力が湧いてきました。そんな仲間と過ごす日は一瞬で過ぎていきます。卒業の日が近づいていく中で、そのことを痛感します。

1、2年生のみなさん、仲間と過ごせる一日一日を大切に過ごしてください。そして、明るく、温かい領家中学校の雰囲気を作ってください。自分が苦しいとき、その温かさが心の支えになってくれます。1、2年生のみなさんが卒業するとき、「領家中学校での3年間は最高だった。」と言えるように、これからも頑張ってください。

**SEPRO Global (Super English Program)**

2月1日(水)・2日(木)：3年生対象

**SEPRO (Super English Program)**

3月1日(水)・2日(木)：1・2年生対象

他校からAETの先生をお迎えして行ったプログラム。これまでの学習の成果を活かして英語でコミュニケーションを取りながら、班ごとに課題に取り組みました。



3年生：Our Daily Lives

2年生：Pros & Cons ... Debate

1年生：Describing & Explaining ... Best Hints



## 授業のふりかえりより…

- 生まれた国とかが異なるけれどこうしてコミュニケーションをとることができる場があるのはすごくいいことだと感じました。
- いつもやっている英語の勉強の文をアレンジして質問をしたり会話したりして話を広げることができました。
- 1つ1つの単語の発音の違い？少し国によってなまりがある感じがあってすごいなと思いました。
- 英語を話すときにいつも文法が合っているかなど伝わるか不安になることが多いけれど、違う国の人とも会話できるということが改めて感じられて良かった。
- 自分が言葉にしようと思ったことを単語ごとに分からなくてもとりあえず言ってみると、案外伝わったり相手から正確な英語にして教えてくれたり、楽しくコミュニケーションを取りながら授業を進められた。

## ペットボトルキャップ回収 26,187個 54.9kg

ペットボトルキャップの回収箱に入っているペットボトルキャップを保健委員会で回収し数を数えて「NPO法人 ともにあゆむ」に引き取っていただきます。ポリオワクチン27.45人分となります。恒春ノ郷、泉寿荘の方々からもご協力いただきました。引き続き回収活動にご協力をお願いします。



(保健安全指導部 川口 みどり)